

「誤送金した方が悪い」という半ば逆切れとも思える一件。誤送金自体は過失であり犯罪ではない。他人の金品と知りつつ勝手に流用するのは犯罪。事件発端となる行政側の非や不正流用の真の要因は、社会構造がもたらす個のモラル低下かもしれません。

☆今月の一言【幕天席地】志の広大であることのたとえ。また世俗の小事にとらわれないことのたとえ。目先の利益や私利私欲にとらわれず、堅実で広い視野で物事に向かうことのできる姿勢でありたいものです。

かにこれ おもしろ受注館

全国至る所へ手紙や書物等を届けてくれる郵便。考えてみれば至極低料金で実にありがたいサービスで、毎日のように届く郵便物には喜怒哀楽があり、ポストには家庭や施設の物語が凝縮されていそうでもあります。

門や玄関・庭先に見るポスト。市販品でもなかなかお洒落なデザインのものが多数出回っていますが、手作りで個性的なものも時折見られます。ある意味、邸宅の顔の一部なのではないでしょうか。



山小屋風に三角屋根加工



内隅に防水棧木取付け



取出し口裏側に磁石取付け

山小屋風のお洒落なポスト設置を検討中、という一件。既存物は半円形屋根筒状の金属板製で、独立一本足スタンドで設置の普及タイプ。新規製作に先駆け大きさや形状のイメージなど聴取し、その情報を基に試作品製作に着手。

木製であるがゆえ変形や割れと防水対策が特に重要で、材質は比較的耐水性が高くデッキ材としても多用されるウエスタンレッドシダーを使用。幅や厚みに注意が必要で、幅広の板は反りや収縮が起こりやすく、可能な限り薄くしたいが薄い程割れやすいため幅 140mm×厚さ 18mm(仕上がり寸法 16mm)の既製品を採用。浸水の欠点となりやすい四隅にはコーキングを打ち 15mm角材抑え処理。投函口が自然に塞がるよう裏面に鉄板の重りを張り付ける、取出し口は端部から雨水が入らないよう周りに縁を付け、磁石を取り付けて開きっ放しを防ぐなど、幾つかの工夫を経て試作品完成。製作期間は3日ほど。

既存物に倣う内寸確保したことで、板の厚みと防水用の棧木の分本体が7cm以上大きくなり、試作品を提示した際予想以上に大きいというご指摘。また、材料費や製作期間また設置費を考えると意外に高額で予算オーバーとなり設置保留の末、その2年半後から当社のポストとして使用しています。木材保護塗料《キシラデコール》を塗布して設置(右上写真)。



正面 POST 文字は試作品提示後に取付け



背面 取出し口防水に一工夫

みるきくまなぶ 交遊録

住み慣れた街や身近な街は何気なく過ごしているせいか、意外に特徴や良さに気付かないことが多いものです。何度も前を通っているのに…というのはよくありますが、時にはゆっくり見つめてみると、我が街の新たな発見に出会うかもしれません。

古くは城下町として栄えた上総一ノ宮。筆者所属の千葉県建築士会長生支部の管内で、近隣ゆえ業務上でも度々訪問するゆかりある地。国道沿いは一見どこにでもある街並みのようですが…

2014年11月24日、千葉県建築士会(確か)女性委員会主催の、上総一宮の街並み見学会に参加。それまで一宮の街道沿いに建つ商店や住宅建築様式については全く無知でしたが、関東各地の町家造りが終結

した街であると聞き驚き、説明に同行されたその研究者が外国人(姓名記録を忘れたのが残念)の方であることにさらに感銘! 図面や文献を基に詳しい構造や歴史の説明を頂きました。

最初に訪れたのは、東浪見駅すぐ東側で国道128号沿いの、カフェやレストランを併設した『旧秋場家住宅(柚庵)』。施設全てに魅了されますが、注目は圧倒的な長屋門と豪快な棟木丸太で圧巻の小屋組を持つ重厚な土蔵。この出会いだけでも大収穫!

続いて町の中心地。前述の町家造りを何軒か紹介され、中でも代表的で現在カフェを営業の『寿屋本家(すやほんけ)』を会場に、建物内見学と併せ街並みの成り立ち背景などを知る機会が得られました。玉前神社前の『高原家の店蔵(屋号:にんべん)』も内外を見学。国登録有形文化財指定の当施設は、かき氷店としても有名です。



旧秋場家の長屋門前で説明を聞く参加者



旧秋場家住宅の土蔵正面外観



上総一宮 R128 号沿いの街並み



見学会当時(カフェオープン前)の寿屋本家正面外観

ざつがくの庭

完全にはマスク生活から抜け出せない昨今。マスク着用が熱中症の危険性を高めるとなると、温かくなり始めるこの時期水分補給には十分注意が必要です。

水分補給に適していると言われる経口補水液(飲料)。販売されてはいますが家庭でも手軽に作れるようで、そのレシピは水 500mL に対し砂糖 10~20g、塩 1.5g、お好みでレモンやグレープフルーツ果汁をスプーン1杯程度加えると飲みやすくなるそうです。また、体液と浸透圧がほぼ同じで鼻うがいにも使用される生理食塩水は、沸騰した湯 500mL に対し 5g の塩を加え 40℃位に冷まし完成。水でも可ですが塩が溶け残らないよう注意とのこと。濃度 9% という文献も目にします。

答え 1. まばら 2. うとしい 3. そばえ 4. てにおは 5. そもそも

読めますか?

1. 疎ら
2. 疎い
3. 日照雨
4. 弓爾乎波
5. 抑

ヒント: 事の発端

次号をお楽しみに